

会 議 録

1 会議名

平成 30 年度第 2 回諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域活動支援事業について（公開）

① ヒアリング

② 採点

③ 審査・採択

3 開催日時

平成 30 年 5 月 25 日（金） 午後 6 時 30 分から午後 9 時まで

4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・ 委 員：石黒太一、内山松男、川上奈津子、川上久雄（副会長）滝澤隆行
武田輝夫、西嶋明子、星野一巳（会長）、松縄節子、山岸
(欠席 2 名)

・ 事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、野口係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【野口係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【星野会長】

- ・会議録の確認：滝澤委員に依頼

議題2「(1) 地域活動支援事業について」に入る。

今回提案された7件の事業について疑問点を解消するために質疑応答を行う。最初に事業提案者から事業概要の説明を5分、次に質疑応答を4分、1件当たり9分で行う。進行は事務局のベルにて行う。開始の際と終わりの1分前、終了の際にそれぞれ1回ベルを鳴らす。それでは開始する。

【星野会長】

「諏-1 諏訪幼年野球推進整備事業」を開始する。

【諏-1 提案者】

- ・「諏-1 諏訪幼年野球推進整備事業」の概要説明

【星野会長】

「諏-1」について質疑を求める。

【西嶋委員】

幼年野球のメンバーは10名となっているが、内訳を教えてください。

【諏-1 提案者】

6年生が2名、5年生が5名、4年生がなし、3年生が1名、2年生が2名の計10名である。うち、男子が6名、女子が4名である。

【星野会長】

メンバーはすべて諏訪小学校の児童か。

【諏-1 提案者】

そうである。現在諏訪小学校は全校で32名しかおらず、そのうちの10名が所属している。

【星野会長】

「毎週日曜日に練習を開催」とあるが、「月に3~4回×12か月」とほとんどの日曜は練習しているということか。

【諏-1 提案者】

運動会などの大きな行事がなければ、基本的には毎週日曜の午後1時から5時頃まで練習を行っている。

【星野会長】

他にあるか。

【石黒委員】

野球の練習がメインかと思ったが、周辺のゴミ拾いや草取り環境などの美化活動に取り組んでいるようであり、大変すばらしいと思う。これはどのくらい続けているのか。

【諏-1 提案者】

毎年行っている。

【山岸一之委員】

提案書の見積もりにある「スロートガード」とは何か。

【諏-1 提案者】

キャッチャーミットの下にある、首や顎を守る装具のことである。

【山岸一之委員】

見積もりを2店舗からとっているが、スポーツデポには「スロートガード」と「バックネット」の記載がないのはなぜか。

【諏-1 提案者】

スポーツデポに問い合わせたところ、バックネットが自社製品で取り扱いがなくインターネット商品を紹介された。そのため、取扱いのあったスーパースポーツゼビオにて見積もりをとった。

【川上副会長】

飛び入りで地域住民が練習に参加することはあるのか。

【諏-1 提案者】

中学生は時間があるときには練習に来てもらっている。それ以外では、若干名ではあるが住民も飛び入りで参加することがある。いずれにしても、みんなで楽しく練習をしている。

【滝澤委員】

美化活動に関しては子供たちだけではなく、親にも声掛けをすることはあるのか。

【諏-1 提案者】

参加できるときは親も参加して行っているが、基本的には子供たちだけで行って

る。

【滝澤委員】

地域住民にも積極的に声掛けし、活動を広めてほしい。

【星野会長】

以上でヒアリングを終了する。委員の皆さんは随時採点票を記入してほしい。

— 提案者退席 委員採点 —

【星野会長】

「諏-2 諏訪唱歌ナツメロ教室事業」を開始する。

【諏-2 提案者】

・概要説明

【星野会長】

「諏-2」について質疑を求める。

【星野会長】

諏訪地区以外の参加者もいるのか。いるのであれば、人数はどのくらいか。

【諏-2 提案者】

諏訪地区以外からの参加もある。22名中9名が地区外からの参加になる。公民館事業の流れを汲んでの参加者になるため、地区外からの参加もある。他の地区からの参加者は若い方もいるため、大変に力を貰っている。また、地区外からの参加者から「諏訪地区はこんなことをしているのか。頑張っている。」との高い評価を貰っているところだ。

【星野会長】

色々な場面で諏訪地区に対する高い評価を貰えることは大変にうれしく、ありがたいことである。さらに広げてほしい。

【石黒委員】

諏訪地区内では、南部・西部・東部で区切った際に、参加者はどの程度の割合でいるのか。

【諏-2 提案者】

南部が4名、東部が6名、西部が3名である。さらに、25人乗りの貸切バスで歌の故郷を訪ねる旅に行っているが、バスに空きがある際には、さらに地域住民に呼

びかけて参加してもらっている。

【山岸一之委員】

提案書の支出欄で「講師謝礼」とあるが。サロン2回、敬老会1回、文化祭1回とすべての会に講師は参加しているのか。

【諏-2 提案者】

そうである。講師はピアノ伴奏をしてくれるので、参加がないと会が成り立たない。

【星野会長】

他にないか。

(発言なし)

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

【星野会長】

「諏-3 諏訪の里づくり活動事業」を開始する。

【諏-3 提案者】

・概要説明

【星野会長】

「諏-3」について質疑を求める。

提案書中 2 (4) の「5: 歴史探訪」の「④地区に残る歴史文化財を学ぶ学習会の実施」と「⑤諏訪地区パンフレット制作・全戸配布」あるが、講師等は決まっているのか。

【諏-3 提案者】

「歴史探訪」、「諏訪地区のパンフレット」については、寺田嘉男先生を今までも講師として招いており、今後も継続する予定である。

【星野会長】

他にないか。

【西嶋委員】

たとえば「諏訪村歌」を新しく額装した場合、どこか展示するといった活用法は決定しているのか。

【諏-3 提案者】

住民活動の中心となっている諏訪地区公民館に設置したいと考えている。

【星野会長】

掛軸について概要説明にあったが、提案書の見積もりが専門用語になっているので詳細の説明を願う。

【諏-3 提案者】

きっちりとやるとなると、見積もりはピンからキリまでになる。そのため、中間を取った形の見積もりである。正式にやる場合は何か月も掛かってしまうため、このような簡便な方法にした。

【星野会長】

「額装」とは額も含めた形なのか。

【諏-3 提案者】

そうである。

【星野会長】

「しみ抜き」も含めているのか。

【諏-3 提案者】

含めている。見て分かるように、大分汚れており、保存し残すためにこのような形にした。

【星野会長】

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

【星野会長】

「諏-4 芳澤謙吉翁顕彰事業」を開始する。

【諏-4 提案者】

・概要説明

【星野会長】

「諏-4」について質疑を求める。

【川上副会長】

記念館を見学したい場合はどのようにしたら良いのか。また説明などはしてもら

えるのか。

【諏-4 提案者】

鍵は鍵管理人と私（提案者）、町内会長が所有しており、基本的には私（提案者）に連絡を貰えれば対応し説明する。

【川上副会長】

今の世の中インターネットが普及しているが、「芳澤謙吉翁」を検索した場合、連絡先等の詳細が分かるように対応されているのか。地元住民は分かっているが、県外等から着地型の旅行の問い合わせなどがあると思うのだが。

【諏-4 提案者】

何らかの方法にて連絡が来ている。市役所などに問い合わせをしてくる場合もある。チラシには記載しているが、ホームページ等に関しては今後検討する。

【川上副会長】

昨年度補植したツツジが枯れてしまったようだが、植えっぱなしではダメであるため、水遣りなどは誰かが世話をした方が良いと思うが、どのように対応しているのか。

【諏-4 提案者】

2人程にお願いし、道具も準備してあるが、なかなか出来ていないのが現状である。しかし、木々の様子は落ち着いており、部分的に木の下にあるツツジが枯れている。枯れているものは数本であり多くはないが、弱いところに植えてしまったことが原因と考えている。

【川上副会長】

大変だとは思いますが、しっかりと管理してほしい。

【星野会長】

以上でヒアリングを終了する。

続けてヒアリング担当者が同じたため「諏-7 移住促進諏訪の会活動事業」のヒアリングを開始する。

【諏-7 提案者】

- ・概要説明

【星野会長】

「諏-7」について質疑を求める。

私から質問させていただきたい。上越市の他の地域で、中山間地の活性化に向けて「地域おこし協力隊」と呼ばれる方が現在5名いる。地域おこし協力隊の活動により地域が活性化したり、移住の決断に対して背中を押すと言った活動をしていると思うのだが、地域おこし協力隊から話を聞いたり活動をしている人の生の声を聞くと言った機会や予定はあるか。

【諏-7 提案者】

そのような方々から話を聞ける機会があれば、当団体の活動に際し参考になると思う。実際、新しく外部から移住してきた人たちの気持ちがなかなか理解できない部分もある。実際に聞いてみると、自分たちが想像していなかった意見を言われてハッとすることもあるため、出来ることであればそのような機会を作っていきたい。

【星野会長】

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

【星野会長】

「諏-6 くびき野諏訪ホームページ運営委員会事業」を開始する。

【諏-6 提案者】

・概要説明

【星野会長】

「諏-6」について質疑を求める。

【西嶋委員】

現在のホームページでは、芳澤謙吉翁の文字が紫であるが、デザインを変更する予定はあるのか。

【諏-6 提案者】

変更を希望する意見がメンバーの中からもあるのだが、昨年度より上越市のホームページにリンクを貼ってもらうことができたため、現時点では変更の予定はない。指摘のように、色を変えることは簡単である。

ただ、芳澤謙吉翁は偉人であるが、残念ながら上越市のホームページには偉人として紹介はなく、大変残念に思っている。

【西嶋委員】

写真の更新などの予定はないのか。

【諏-6 提案者】

要望があれば何でも取り入れていくつもりである。掲載してほしい写真などがあれば、自分たちがいなくても、公民館主事にデータを預けてくれたら最短で2時間程度で掲載可能である。しかし、基本的に我々はボランティアであるため、時間にも限りがあることはご承知いただきたい。ただ一生懸命に取り組む姿勢はあるため、声や期待に対して、それなりの形でお返しするつもりである。

【星野会長】

提案書に「ホームページ更新費用」とあるが、これはどこに支払っているのか。

【諏-6 提案者】

4年前にアクセルデザインという会社に情報提供という形で協力してもらった。例えて言うなら、お寺の上納金である。もし、「こんなホームページはいらない」という声があった場合に、即削除され、後で検索しても項目に上がってこなくなる。それを維持するためには、情報を取り込みながら掲載状態をキープする必要がある。これにかかる経費である。

【星野会長】

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

【星野会長】

「諏-5 すわっ子わくわく事業」を開始する。

【諏-5 提案者】

- ・概要説明

【星野会長】

「諏-5」について質疑を求める。

【川上委員】

昨年度より新潟大学の学生が来て交流しているが、上越市にも上越教育大学があり、教員養成ということで子供と関わる授業が出来ると思う。大学では出前講座も行っているが、今年度が無理であれば来年度以降、地元の大学生との交流があつて

も良いと思うのだがどうか。

【諏-5 提案者】

若い力が入ってくると言うことは大変に魅力的なことであり、実際に子供たちも大学生との交流を楽しみにしている。出来ることであれば、上越教育大学の学生とも交流をしたいと考えている。実際、現段階では働きかけは行ってはいないが、今後行動していきたい。

【星野会長】

地元にも立派な大学があり、大学とは色々な地域の人が集まっており、上越市をアピールする機会でもあるため、様々な人との関わり・交流を増やしてほしい。新潟大学では距離的なものもあり、継続が厳しくなることも考えられる。色々と趣向を凝らして継続できるようにしてほしい。

「パソコン教室」、「プログラミング等」は2年ほど継続しているようで、だいぶ慣れ親しんできていると思われるが、何か成果はあるか。

【諏-5 提案者】

昨年度は6、7回ほど開催したが、月曜日の放課後に開催したため4、5名程度の参加しかなかった。そのため、参加者を増やすという課題があるが、参加者の中には簡単なゲームを自分で作れるようになってきている子供もおり、パソコンに慣れ親しむ様子は感じ取れている。

【星野会長】

継続することに意味があるので、頑張してほしい。

【山岸一之委員】

テント2張の新規購入を予定しているが、13万円と高額で提案金額の大半を占めているが、大きさはどの程度なのか。何人で使用できる大きさかを教えてほしい。

【諏-5 提案者】

キャンプ時の使用を予定しており、3メートル掛ける3メートルで、大人で5、6人用のサイズである。主に子供が使用するため、大人よりも多い人数で使用できると考えている。

【星野会長】

以上で全てのヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

【星野会長】

以上で提案者への全ヒアリングを終了する。全ての採点が終わった方から順次休憩に入ってください、結果がまとまり次第、会議を再開する。

— 委員休憩・事務局集計 —

【星野会長】

会議を再開する。

【野口係長】

・集計結果を発表

【星野会長】

次第「③審査・採択」に入る。今回は配分額を割っているなので、全ての事業を採択することとする否かを協議し、そのあとに補助額について協議を行う。

まずは、「全ての提案事業を採択する」ということでよいか。

（「よし」の声）

それでは、全て採択するということで決定した。

次に補助額について決めていく。採択した事業のうち補助額は申請のあった額のとおりとするか、もしくは一部減額して採択するかについて協議する。

では、申請のあったとおりの額としてよいか。

（「よし」の声）

申請のあった額のとおり決定した。

以上で1次募集にかかる審査・採択を全て終了した。提案者には事務局から早々に結果の第一報を電話等で連絡していただく。

また、残額について、前年度は追加次募集を行ったところだが、今年度も前年同様、追加募集を行うか意見を求める。現在、480万円の配分額に対して131万7千円の残額がある。

【石黒委員】

追加募集を行った方が良いのではないか。

【星野会長】

事務局に意見を求める。

【野口係長】

追加募集を行った場合と行わなかった場合、それぞれメリット・デメリットがある。追加募集を行った場合、移住促進諏訪の会と連携をとって話を進めていくと言う、地域協議会で設置した本来の目的である自主的審議の時間が割かれてしまう、少なくなってしまう。急がず焦らずとの意見もあるが、何をいつまでに進めるかということも大事だと考える。予算消化主義的に余ったから使うことと、諏訪区に与えられた予算を有効活用するという事は表裏一体なことであるが、追加募集をした際は実際に事業着手できるのが秋口からとなるため、冬期間を挟むソフト事業に限定されるため事業効果がどの程度出るかという懸念がある。さらに、実際に追加募集を行う際は、地域協議会委員から積極的に事業提案のPRをしてもらい、提案の促進をしてもらう必要がある。我々、事務局としては、地域活動支援事業は、備品購入より、人が動いて活動することに重点を置いている。例外的に備品購入も認めているが、基本はレンタルで済ませてもらうとの考えが根本にある中で、ソフト事業がどれだけ集まるかも心配である。実際に追加募集を行っても、提案が数件、または全くなしでは困る。そのため、現段階である程度実施できる団体やソフト事業ができる提案者の目星がなくては追加募集を行っても厳しいのではないかと考える。

以上のメリット、デメリットを考慮した上で、地域協議会で検討し、決定してほしい。

【星野会長】

事務局の考えに対して意見はあるか。現在、地域活動支援事業に申請してくる団体が毎年度決まってきているように思う。その状況の中で、新規の団体からの申請、または現在申請している団体への更なる活動拡大の呼びかけや助言等が出来るのがポイントと考える。

【西嶋委員】

以前、子供たちが歩く道に緑色の線（以下「グリーンライン」と言う。）を引いてはどうかと相談した際、希望している道が県道のため難しいと聞いたことがある。

【星野会長】

ちなみに、富岡小学校や有田小学校の付近にはグリーンラインが引いてある。県道でも市道でも可能ではないのか。富岡小学校は川の付近に長い距離でグリーンラ

インが引いてあるが、何か条件があるとは思いますが可能だと思う。金額がどの程度かかるかは不明である。

【滝澤委員】

公共事業で行っているのではないのか。

【西嶋委員】

北諏訪区や新道区、津有区等の他の自治区では地域活動支援事業で行っているようだ。

【星野会長】

安全が守られるのであれば良いことである。

【川上奈津子委員】

地域活動支援事業で行えるのであれば良いと思う。

【西嶋委員】

子供の少ない地域などは保護者が送り迎えを行っており、公民館を利用する際も歩いてくる住民も多いため、グリーンラインがあればとても良いと考える。

【星野会長】

実際、地域活動支援事業として提案する場合、どの団体が行うかが問題である。交通安全協会諏訪支部、諏訪の里づくり協議会などが考えられるが、実際に県道でもグリーンラインが引いてある箇所があるため、場所によって条件も違い難しいとは思いますが出来ると思う。

他に意見はあるか。

【松縄委員】

諏訪地区公民館には収納スペースがないため、スチールの収納庫を設置することはできないのか。

【星野会長】

防災用具等を収納しているような物置小屋のようなものか。

【松縄委員】

行事やイベントを行う際、今は座布団を車に積んだり床の間に置いている。床の間は掛軸をきれいに直すのに勿体ない。

【松縄委員】

よくコンビニの横に置いてあるような収納庫であれば移動できると思う。

【星野会長】

移動式の収納庫であれば良いと思う。基礎を打ってしまうと固定資産税等の問題も出てくる。設置する場合には市役所の許可もいる。

【内山松男委員】

現在、諏訪地区公民館の老朽化が進んでおり、今後の補修・改修等の話がまとまらなければ無駄になることも考えられるため、買うことは出来ないと思う。

【武田委員】

事務局の話も理解出来るが、昨年度も追加募集を行ってきており、実際提案件数がゼロであっても追加募集は行うべきと考える。例え10万円でも20万円でも予算が配分されている以上、先ほど話に出た案件などが諏訪区で活用できれば良いと考える。

【星野会長】

他にあるか。

【内山委員】

武田委員と同意見である。しかし、自主的審議がなくなるとのことで地域協議会の回数を増やすことは可能か。

【野口係長】

それは可能である。

【内山会長】

自主的審議の時間が減るとということを経験した上で追加募集を行うのであれば問題ないと思う。

【野口係長】

地域協議会の開催ではなく、移住促進諏訪の会として開催することも可能と考える。

先ほど話に出たグリーンラインや保管庫は、まさに先ほど話した備品や工事になるため、本来の地域活動支援事業としてはふさわしくない。事業にするには、備品購入や工事について、どのようなソフト事業を組み込んでいくかを提案団体に知恵を絞ってもらいたい。実際にグリーンライン等を地域活動支援事業で捻出している

自治区もあるため、諏訪区独自のソフト事業に組み込んで考えていただく必要がある。武田委員の「10万円、20万円でも」と言うのは極論かもしれないが、せっかく追加募集を行うからには多くの団体から提案してもらいたい。また、1次募集と同じ時間と手間を要することになるので地域協議会委員からも提案を促す協力をしてほしい。

【川上副会長】

今回提案を出している「諏-5 すわっ子わくわく事業」は大きなテントの購入を希望しているが、保管庫の購入を考えても良いのではないか。キャンプを開催する二貫寺の森の建物の中にテントを保管することは出来るのか。

【西嶋委員】

買った場合、小学校に保管する許可は得ている。

【川上副会長】

このように、現在出ている提案に追加して申請することも1つの案ではないか。備品購入ばかりでは良くないと思うが、長い目で見た時に収納庫も必要になってくると思うので良いと思う。

【西嶋委員】

ソフト事業だけでは難しいと思う。

【川上副会長】

「諏-5 すわっ子わくわく事業」で購入を予定しているテントを使って防災士会とコラボレーションして活用するのも良いのではないか。

【川上副会長】

防災士会では、ある程度の個数のテントはすでに購入しているのか。

【内山松男委員】

小学校で保管している物のみである。

【川上副会長】

小学校は保管スペースがたくさんあるが、それが良いのかは疑問である。

【星野会長】

以上の協議会委員の意見を参考にしながら、最終的な決定をしていく。

では、追加募集を行うことことに賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

では、全員一致で追加募集を行うこととする。募集方法等に関しては、正副会長・事務局で募集期間等も含めて決定していく。

募集方法や審査方法等は1次募集を基本として行うという進め方で、正副会長と事務局に一任していただくことで良いか。

(「よし」の声)

決定次第、地域協議会委員に知らせる。

次に、次第「3その他」について事務局に説明を求める。

【野口係長】

- ・ 次回の協議会：6月18日（月）午後7時から 諏訪地区公民館 集会室
- ・ 地域活動支援事業：採択結果の報告・追加募集の進め方について
- ・ 自主的審議

【星野会長】

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690（直通）

E-mailchubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。